はたらき

本製品に純正イモビライザーキー(エンジンをかけることのできるキー。以下イモビキー)を内蔵することによって弊社のリモコンエンジンスターターピータイムシリーズ※でイモビライザー装着車のエンジン始動させることができます。また、イモビキーを内蔵した状態でも、万一不審者にキー溝(イモビライザー無し)をコピーされたとしてもそのキーではエンジン始動できない方式を採用しています。

※対応機種:ビータイム　A-9#/10#/11#以降の新シリーズ

詳しくは最新の弊社「車種別専用ハーネス適合表」をご覧下さい。

注意

○本製品を取付けるにはイモビライザー解除可能なイモビキーが1個必要です。
　イモビキーのお求めはお近くのカーディーラーへお問い合わせ下さい。
　また、純正キーレス付きマスターキーを代用することはおすすめできません。
　キーに内蔵された電池の液漏れ等により本製品やマスターキー等の故障の原因となります。
　スペアキーで純正キーレス付きしか無い場合はキー内蔵の電池を抜き取ってご使用願います。

○ダイハツ、トヨタ、ホンダ車等電子カードキー内蔵のカギでエンジンが始動できない場合(イモビ解除不可)は

必ずエンジンの始動できるカギが必要となります。

純正キーレス付き
イモビキー

純正キーレス無し
イモビキー

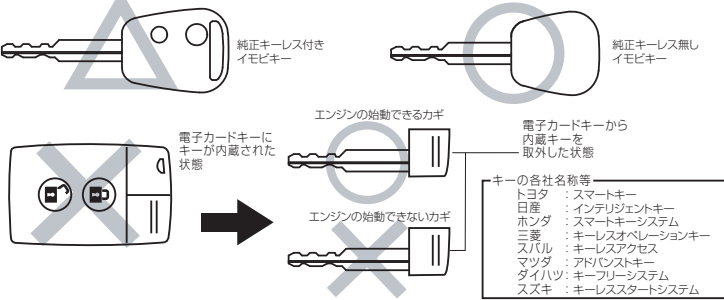
電子カードキーに
キーが内蔵された
状態

エンジンの始動できるカギ

エンジンの始動できないカギ

電子カードキーから
内蔵キーを
取外した状態

キーの各社名称等

トヨタ	:スマートキー
日産	:インテリジェントキー
ホンダ	:スマートキーシステム
三菱	:キーレスオペレーションキー
スバル	:キーレスアクセス
マツダ	:アドバンストキー
ダイハツ	:キーフリーシステム
スズキ	:キーレススタートシステム

○防犯性を高めるために、必ずキー溝の一部をヤスリ等で削ってください。
　この作業を行うことによりキーとして使用出来なくします。
○本製品を取付け後に、万一車両盗難、車上あらしに遭われても、弊社では一切の責任を負いません。
○本製品はエンジンスターターで作動中のみ一時的にイモビライザー機能を解除します。
　ご契約されている一部車両保険では盗難保険等の契約に支障をきたす可能性がありますので
　ご契約の保険会社へ必ずご確認ください。
○本製品の取付けには専門知識が必要です。必ず専門の取付け業者へご依頼願います。
　お客様ご自身での取付けサポートは行っていません。

配線に必要な工具

■プラスドライバー　■ニッパー　■ハサミ　■ペンチ　■ヤスリ　■スパナ又はボックスレンチ
■テスター　■絶縁テープ

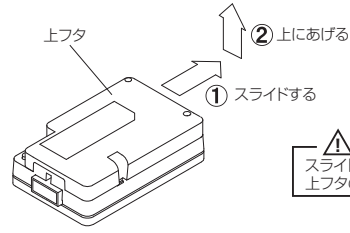
セット内容

※( )内の数字は個数は表します。

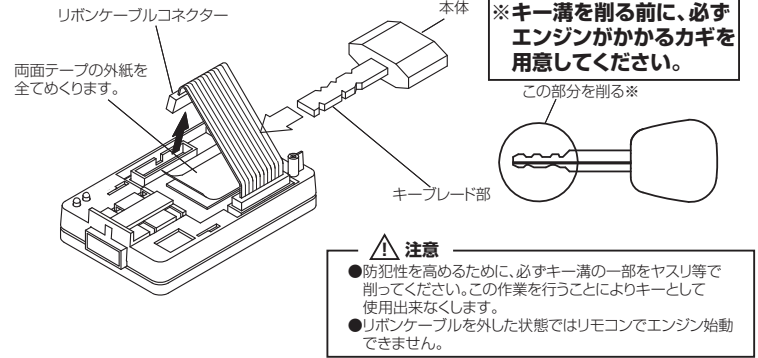
■イモビアダプター本体(1個)　■イモビハーネス(1本)　■ネジ(2個)　■インシュロック大(1本)
■インシュロック小(2本)　■エレクトロタップ(2個)　■両面テープ(2枚)　■本書　■保証書

取付け方法

1 上フタを下図のようにスライドさせ、上にあげて取外します。

上フタ
② 上にあげる
① スライドする

⚠ 注意
スライドさせずに無理矢理上フタを上げると
上フタのツメが折れますのでご注意ください。

2 リボンケーブルコネクターをどちらか片側だけ外し、両面テープの外紙を全てめくります。
イモビキーの本体部分を両面テープにしっかり固定した後、リボンケーブルを接続します。

リボンケーブルコネクター
本体
両面テープの外紙を
全てめくります。
キーブレード部

※キー溝を削る前に、必ずエンジンがかかるカギを用意してください。

この部分を削る※

⚠ 注意
●防犯性を高めるために、必ずキー溝の一部をヤスリ等で
　削ってください。この作業を行うことによりキーとして
　使用出来なくします。
●リボンケーブルを外した状態ではリモコンでエンジン始動
　できません。

3 下図のようにイモビキー本体を入れた状態でインシュロック小を必ず2ケ所通し、キーブレード部(金属)をしっかり固定します。

キーブレード部
リボンケーブル
インシュロック小で縛った後、余分な
インシュロック先端はニッパー等で
カットします。

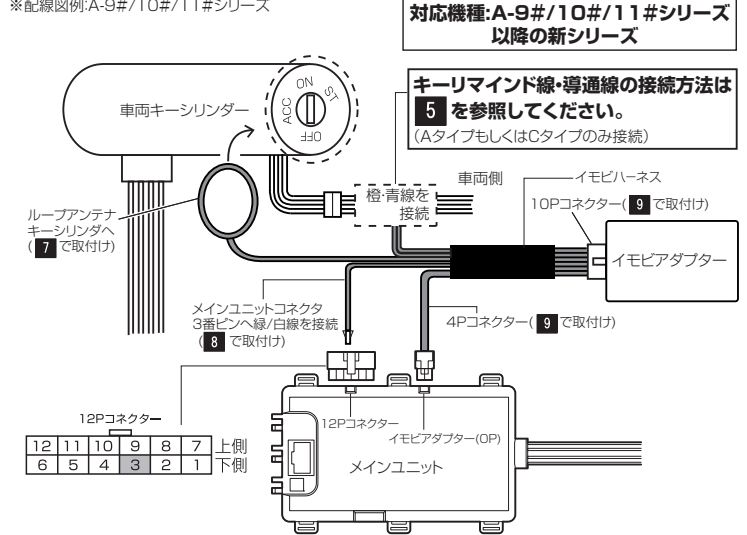
リボンケーブル ○
リボンケーブル ×

⚠ 注意
リボンケーブルとイモビキーが平行になる様に固定します。リボンケーブルが折れ曲がっていると、イモビライザー信号を読み取れない為、リモコンにてエンジン始動出来ません。

4 上フタを下図のように本体に取付けた後、付属のネジで固定します。

付属のネジ(2個)
① 下におろす
② スライドする
上フタのツメ(2ケ所)に注意
上フタのツメ

イモビハーネス配線全体図

※配線図例:A-9#/10#/11#シリーズ

対応機種:A-9#/10#/11#シリーズ以降の新シリーズ

キーリマインド線・導通線の接続方法は 5 を参照してください。
(AタイプもしくはCタイプのみ接続)

車両キーシリンダー
ON
ST
ACC
OFF
車両側
イモビハーネス
橙・青線を
接続
10Pコネクター(9 で取付け)
イモビアダプター
ループアンテナ
キーシリンダへ
(7 で取付け)
メインユニットコネクタ
3番ピンへ緑/白線を接続
(8 で取付け)
4Pコネクター(9 で取付け)
12Pコネクター
12Pコネクター
イモビアダプター(OP)
メインユニット

12	11	10	9	8	7	上側
6	5	4	3	2	1	下側

裏面 5 に続く

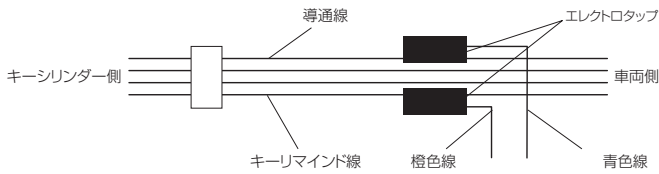
5

キーリマインド線と導通線の接続方法は、車両によって3タイプに異なります。接続方法をお間違えになりますとイモビライザーが解除できなかったり、純正セキュリティアラームが鳴ってしまう場合があったり、セキュリティ性が低下してしまいますので十分ご注意ください。

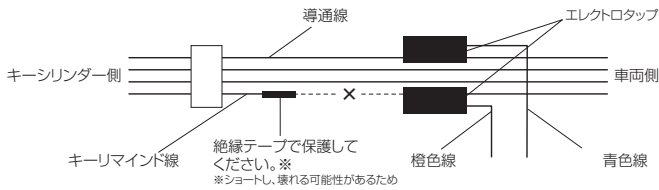
A、B、C、各タイプにつきましては、弊社車種別配線資料(車種別専用ハーネス適合表)をホームページ上にて参照してください。
http://www.e-comtec.co.jp/tekigou/index.html

メーカーや車種によって接続方法が下記A～Cタイプにわかれます。

Aタイプ キーリマインド線と導通線にイモビハーネスからでている2本の線(橙色と青色)をエレクトロタップで2ヶ所接続して下さい。

導通線
エレクトロタップ
キーシリンダー側
車両側
キーリマインド線
橙色線
青色線

Bタイプ キーリマインド線を接続する必要はありません。イモビハーネスからでている2本の線(橙色と青色)を絶縁テープで保護した後、7 へ進んで下さい。

Cタイプ
・キーリマインド線を切断し、車両側の線にエレクトロタップでイモビハーネスから出ている橙色線を接続し、キーシリンダー側の線は必ず絶縁テープで保護してください。
・イモビハーネスから出ている青色線を導通線にエレクトロタップで接続してください。
※車両側のキーリマインド線にエレクトロタップで橙色線を接続しないとリモコンでエンジンを始動できません。

導通線
エレクトロタップ
キーシリンダー側
車両側
キーリマインド線
絶縁テープで保護してください。※
※ショートし、壊れる可能性があるため
橙色線
青色線

※Cタイプで接続を行った車両のみ

・車両盗難防止の為、イモビキーでもエンジンは始動できません。またキー抜き忘れ防止ブザーは鳴らなくなります。
・車両イモビキーの紛失や追加等による再登録の際は、キーリマインド線切断部の再接続を行わないと再登録が出来ない場合があります。

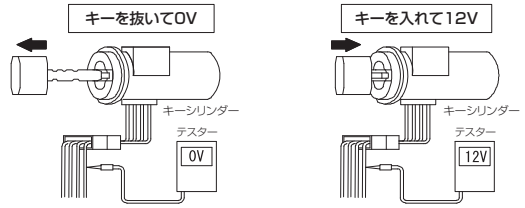
6

5 にて接続方式A～Cタイプをご確認の上、車両側のキーリマインド線と導通線を探してください。
詳しくは弊社車種別配線資料をホームページ上にて参照してください。

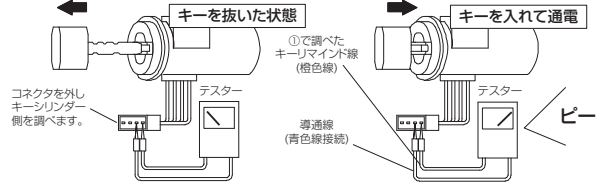
キーリマインド線とは?
キーが差し込まれているかいないかを見ている線です。

①キーリマインド線(イモビハーネスの橙色線を接続する線)の調べ方
例:キーを抜いて0V、差して12Vの車両の場合(車両によって異なります)

キーを抜いて0V
キーシリンダー
テスター
0V

キーを入れて12V
キーシリンダー
テスター
12V

②導通線(イモビハーネスの青色線を接続する線)の調べ方

キーを抜いた状態
コネクタを外しキーシリンダー側を調べます。
テスター

キーを入れて通電
①で調べたキーリマインド線(橙色線)
導通線(青色線接続)
テスター
ピー

7 ループアンテナの取付け

付属のハーネスのループアンテナをキーシリンダーに巻きつけ、両面テープ等で動かないように固定します。

※取付け例
キーシリンダー、コネクタ形状は車両によって異なります。

⚠ループアンテナについて
・ループアンテナが適切な位置に固定されていないとスペアキーからのイモビライザー信号を通信出来ないため、リモコンでエンジン始動出来ません。

A寸法　1cm以上離れると通信不可になります。
(例 Be-IL506)
A
ループアンテナ取付け NG ×

両面テープ　※1
ループアンテナ
※1両面テープはハサミ等で適当な長さに切り貼り付けて下さい。
ループアンテナ取付け OK ○

断面図
固定テープ
車両シリンダーアンテナ
キーシリンダ
ループアンテナ
・車種により右図の様な位置にループアンテナを取付けした方が安定して動作する場合があります。
・コラムカバーでループアンテナが潰れない位置に取付けして下さい。

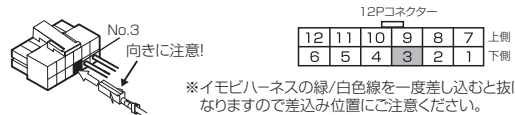
8

ビータイムのメインユニットから12Pコネクターを外し、イモビハーネスからでている緑/白色線を12PコネクターのOP1(3番ピン)に接続します。その後、12Pコネクターをメインユニットに差込みます。

No.3
向きに注意!

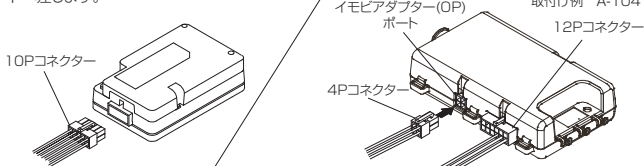
12Pコネクター

12	11	10	9	8	7	上側
6	5	4	3	2	1	下側

※イモビハーネスの緑/白色線を一度差し込むと抜けなくなりますので差込み位置にご注意ください。

9

付属イモビハーネスの10PコネクターをイモビアダプターA本体に差し込みます。
次に、付属イモビハーネスの4Pをビータイムメインユニットの「イモビアダプター(OP)」のポートへ差します。

10Pコネクター
イモビアダプター(OP)ポート
取付け例　A-104
12Pコネクター
4Pコネクター

10

エンジンスターター取付け後スターターの取扱説明書の動作確認手順に従って、リモコンでエンジン始動させ、動作確認を行います。エンジン始動すれば正常です(カーテシ線を接続している場合はドアを閉じた状態で行って下さい)

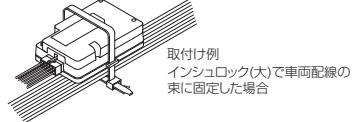
取付けを確認する時は必ず、スマートキー・キーフリーシステムを車両から2m以上離して下さい※
※スマートキー・キーフリーシステムが2m以内にある場合は、スマートキー・キーフリーシステムとの通信が優先されるため、正常な動作確認が出来ない可能性があります。

No.2ランプ
No.1ランプ
1 2 受信前
1 2 エンジン始動

リモートエンジンスタート後、キーノブが回らないこ とを確認して下さい。
もし回ってしまう場合、スマートキー・キーフリーシステムが2m以内にないか確認して下さい。

11

動作確認後、正常であればイモビアダプター本体を付属のインシュロック大又は付属の両面テープで車両に固定します。

取付け例
インシュロック(大)で車両配線の束に固定した場合

故障かな?と思ったら

症　状	イモビアダプター本体　LEDランプ状態	考えられる原因と対策
リモコンでエンジン始動できない	点灯しない　リモコンでスタートしてもNo.1のランプが点灯しない	イモビハーネスから出ている緑/白色線がビータイムのメインユニットコネクタの3番ピンに接続されていないか、違うピンの場所に接続されている。又は4Pコネクタがメインユニットに接続されていない。
		対策　ビータイムのコネクタを確認して下さい。 8 9 参照
	数秒点灯　リモコンでスタートしてもNo.1のランプが数秒しか点灯せず、この動作を3回行い終了。	①ループアンテナが通信していない。
		対策　ループアンテナがずれていないかを確認して下さい。
		②キーリマインド線と導通線の両方が配線されていない。(Bタイプ除く)
		対策　キーリマインド線と導通線を接続しているかを確認して下さい。また、配線されている場合、正しい線かテスターで確認して下さい。 5 6 参照
		③イモビキーが入っていない。リボンコネクターが外れている又は、リボンコネクターが折れ曲がっている。
		対策　イモビキー又はリボンコネクターを入れて下さい。リボンコネクターを延ばして下さい。
	点灯　リモコンでスタートすると、No.2のランプが点灯する。	対策　故障の可能性があります。弊社　サービス部へお問い合わせ下さい。

http://www.e-comtec.co.jp/tekigou/index.html
弊社ホームページにて適合表・車種別取付け配線図をご確認いただけます。
サービス部お問い合わせ電話番号、時間は　電話 0561-36-5654　時間 10:00～18:00
※当社の都合により日時等は変更する場合があります。

※本取扱説明書は大切に保管願います。

車両のスマートキー等の使用方法について

車両によりスマートキー等を携帯していても、エンジンスターターでエンジン始動中はドアロック、アンロック、キーノブの操作ができない車種があります。ご使用いただく車種がどのタイプか確認して下さい。
車種により3タイプあります。

Ⅰ　スマートキー等を携帯していれば、すべての操作が可能な車種。
(ドアロック、アンロック、キーノブ操作が可能)
Ⅱ　スマートキー等を携帯していれば、ドアロック、アンロックのみ可能な車種。
(ドアロック、アンロック可能、キーノブ操作不可)
Ⅲ　スマートキー等を携帯していても、すべての操作ができない車種。
(ドアロック、アンロック、キーノブ操作不可)

車両動作確認方法

エンジンスターターのリモコンでエンジンを始動後、スマートキー等でドアロック、アンロック、キーノブの操作が可能か確認して下さい。
(エンジン始動後、5秒以内にキーノブを回すと安全機能の為エンジンが停止することがありますので注意して下さい)

エンジンスターターのリモコンでエンジン始動後、スマートキー等でドアロック、アンロックの操作が可能ですか?
はい → スマートキー等を携帯し、キーノブをONの位置まで回せますか?
いいえ → (Ⅲの車種) リモコンでエンジンを停止させてから、スマートキー等を使用し、エンジンを再始動し走行して下さい。

スマートキー等を携帯し、キーノブをONの位置まで回せますか?
はい → 車両イモビランプやキーランプ等が点灯もしくは点滅していませんか?
いいえ → (Ⅱの車種) カーテシ線の接続によるドアの開閉※、フットブレーキ※もしくはリモコンでエンジンを停止してから、キーノブをONの位置まで回し、エンジンを再始動し走行して下さい。
※カーテシ線の接続、フットブレーキ線の接続を必ず行って下さい。

車両イモビランプやキーランプ等が点灯もしくは点滅していませんか?
はい → (Ⅱの車種)へ
いいえ → (Ⅰの車種) キーノブをONの位置まで回して走行して下さい。

⚠危険

上記Ⅱの車両の場合、カーテシ線の接続、フットブレーキ線の接続を必ず行なって下さい。
リモコンでエンジンを始動させた場合、スマートキー・キーフリーシステム装着車は、カーテシ線の接続によるドアの開閉、フットブレーキもしくはリモコンでエンジンを停止させてからキーノブ操作でエンジンを再始動して下さい。